

# 尾村としなりの歩んだ道

## 国民の苦難軽減—立党の精神に共鳴

1962年、大田市川合町の貧しい兼業農家の長男として生まれました。

大学では、法学部政治学科を専攻（写真は大学祭実行委員長の時）。侵略戦争に命がけで反対し、国民の苦難を軽減するという立党の精神に共鳴し、日本共産党に入りました。



## 若くして両親亡くし苦労重ねる

1990年、97年と相次いで、父母を亡くしました。8年間、看護を続け、命と医療の大切さを身をもって知りました。（写真は元気なころの両親と姉の子）



## 「政治には人の命が…」信条に

大学卒業後、「松江民主商工会」に勤務。税金、金融、経営相談、多重債務など中小業者の営業とくらしを守るために奮闘。まじめに働く人が報われる社会をつくるために、県議選に立候補を決意しました。

### プロフィール

■1962年大田市生まれ。85年北九州市立大学法学部卒 ■県商工団体連合会事務局長、消費税廃止各界連絡会事務局長など歴任 ■03年県議会議員初当選(2期目)

## 水道料値上げストップを

2011年4月から尾原ダムからの給水が始まり、水道料の値上げが心配されています。今でさえ高いのに、これ以上値上げされたら、商売がやっていけません。

「需要予測を誤った責任を住民に押し付けるべきでない」との論戦を張り、料金の値上げストップを主張するのは尾村県議だけです。

(クリーニング業 野津照巳さん)

## 給与の二重取り許せない

議員が本会議などに出席すると、議員報酬の他に、費用弁償として7,400円もの日当が支給されているとは、ビックリ仰天。

この支給対象を拡大する条例に尾村県議ただ一人反対討論に立ちました。仕事がなく生活に困っている人がたくさんいるのに、賛成した人は、県民の苦しみがわかっているのでしょうか。

(議会傍聴した岩田剛さん)

# くらしと命を守る議席

県議会議員

おむら

# 尾村としなり

利成

48歳



「子どもの就職先が見つからない」「税金、国保料の支払いが大変」「わずかな年金だけでは生きていけない」—県民の苦しみが広がっています。

政治には県民のくらしと命がかかっています。

私は、この2期8年間、みなさんに支えられ、その思いを県政に届けてきました。これからも、県民の立場でスジを通して、がんばります。

日本共産党

民主島根

2010・2011年号外 発行・日本共産党島根県委員会 松江市袖師町3-6  
尾村利成の人柄・実績をご紹介します。 0852-24-2444  
メールアドレス・jcp-smn@mable.ne.jp info@omura-toshinari.com  
日本共産党島根県委員会 尾村としなり事務所